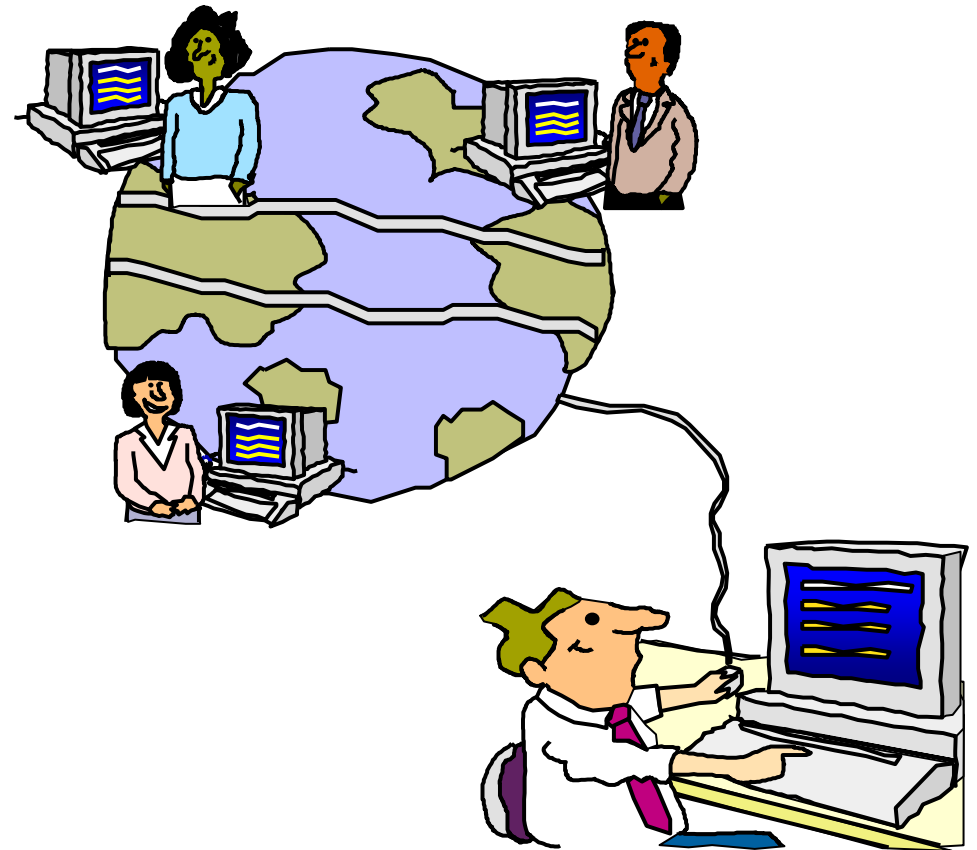


システムと情報

チェンジ~かわるってなに？

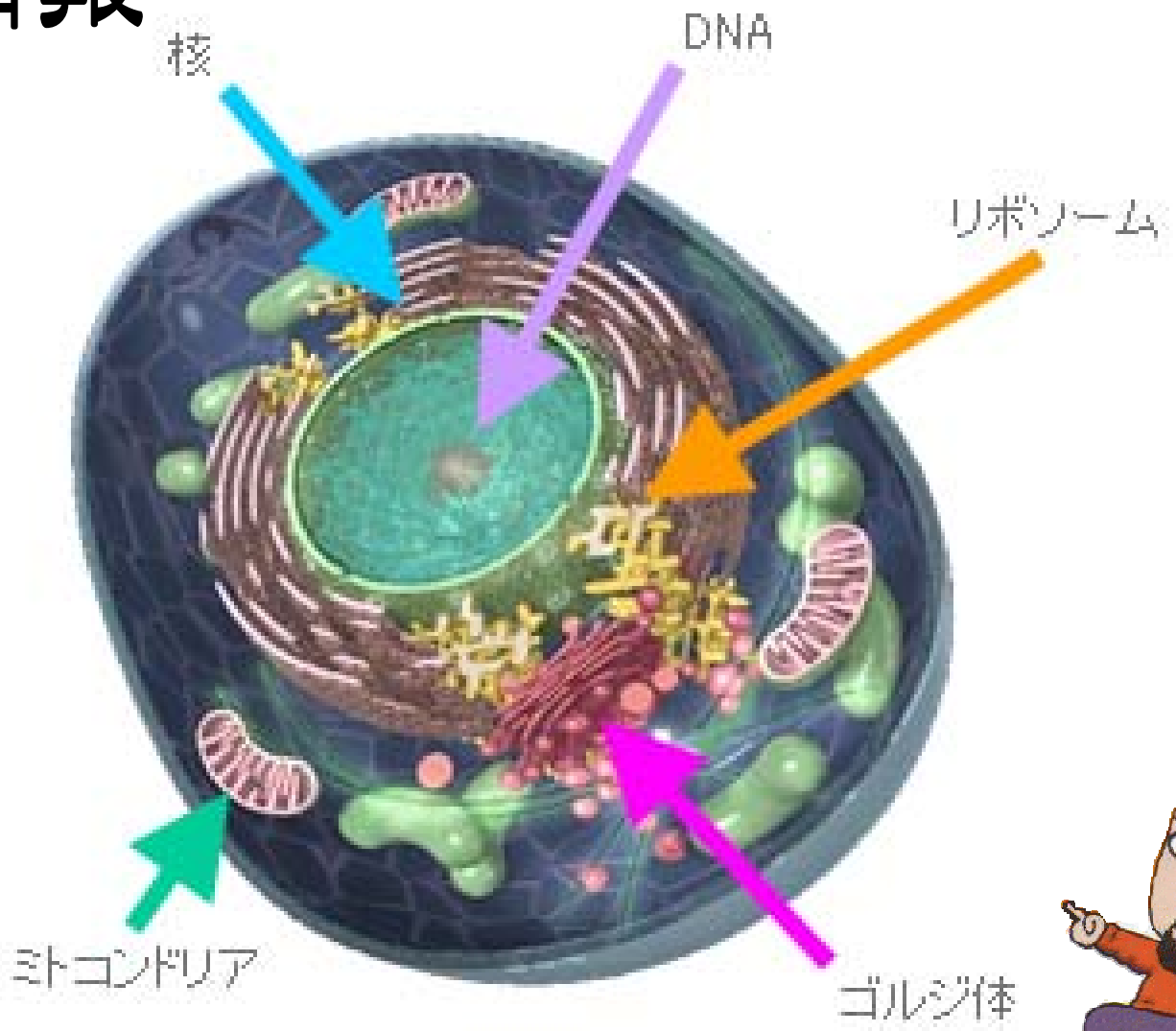


2009年2月7日 桃組勉強会

情報は変化しない
システムは変化する



細胞 = システム DNA = 情報



組織（企業・協会）
というシステムをつくる
情報

＝組織のDNA

≡ミーム

≡社風



環境変化へ適合す
るために
組織のDNAを書き換
えることは可能か



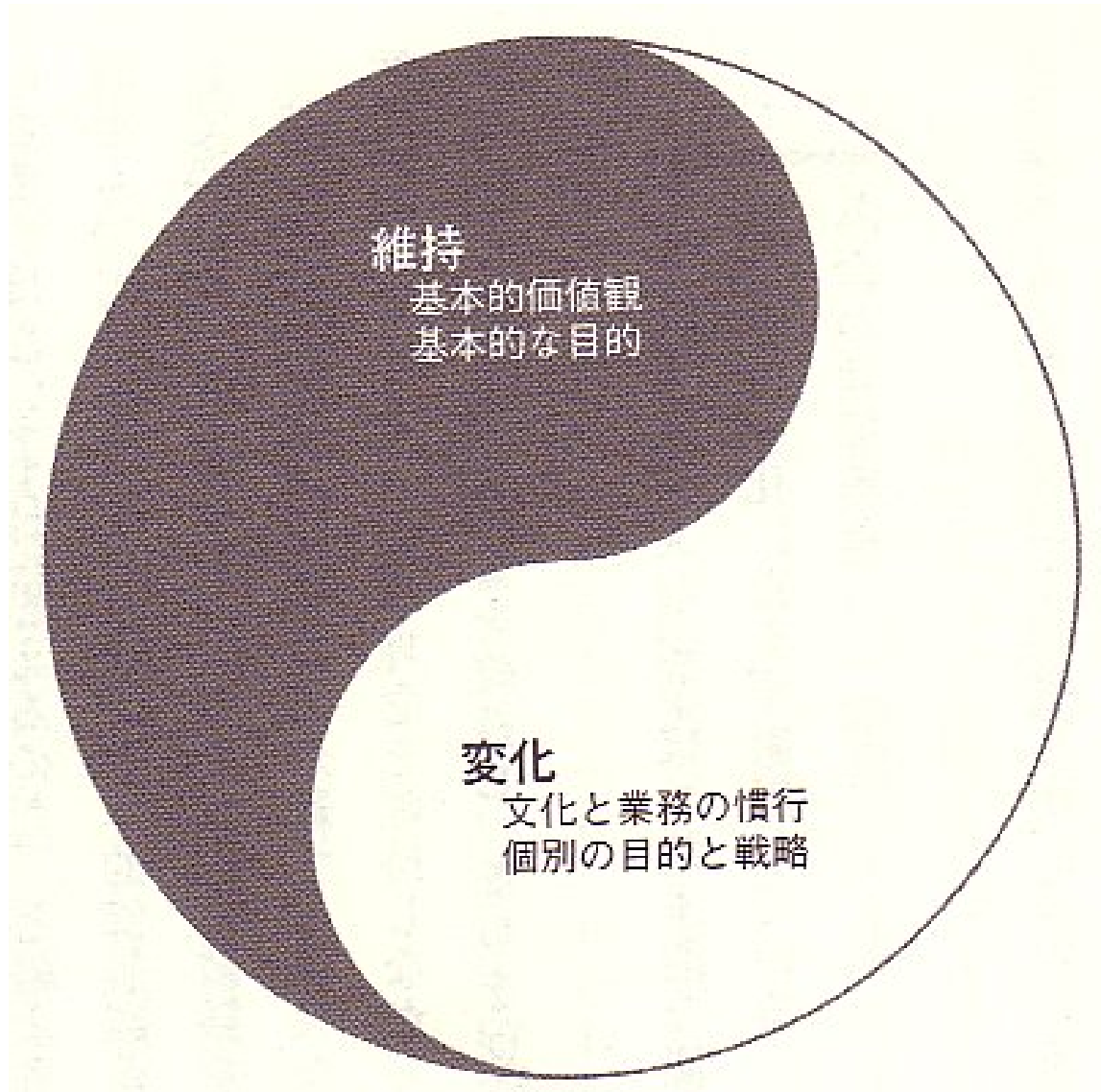
進化論のアナロジ
的には可能だとい
うことになっている



しかし
全てを書き換える
わけではない



維持するもの／変化するもの



書き換えられるもの

- 文化と業務の慣行
- 個別の目的と戦略



書き換えられないもの

- 基本的な価値観
- 基本的な目的



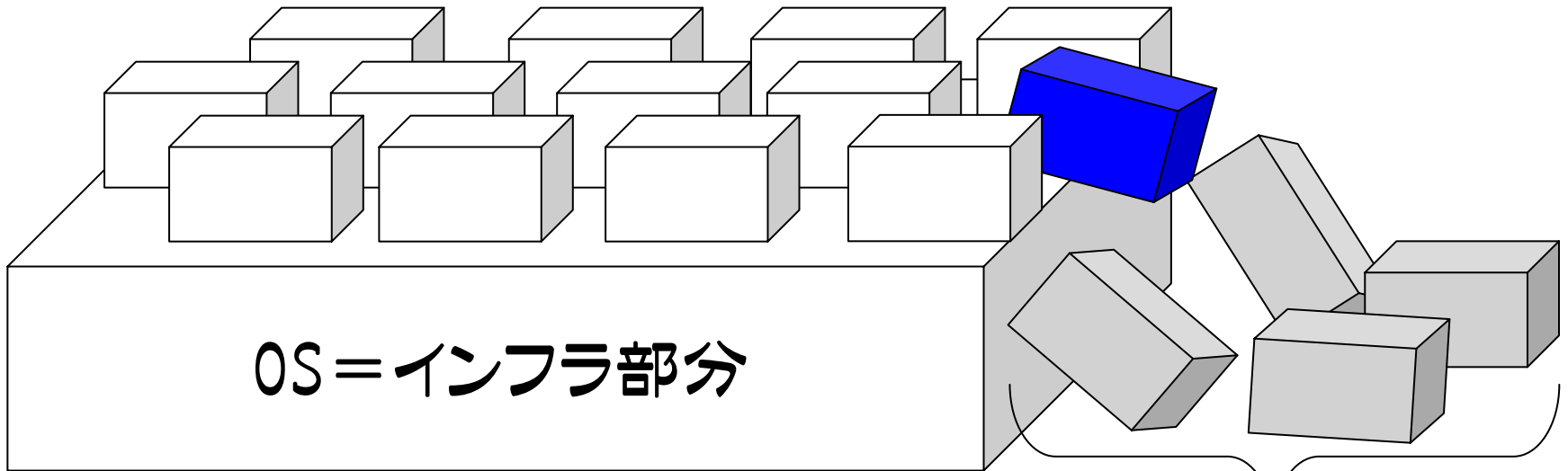
書き換えられないものを超える環境
変化で淘汰は起きる。

若しくは書き換えられないものを書き
換えようとすることで自滅する。



自滅したOSの入れ替え

アプリケーション部分 = 価値観



「リベタリアニズム」(自由至上主義)

OS非適応 - 排除

金融資本主義

人間の〈欲望〉を商品
で書き換えようとした
運動の最終地点



ルネ・マグリット 「夢の解釈」

おカネは
メタ欲望である



その何が問題
だったのか



英米流の金融資本主義

社会的交換
(贈与)

経済的交換
(交換)



交換



交換の原理

商品はモノである。つまり、そこにはそれをつくった人や前に所有していた人の人格や感情などは、含まれていないのが原則である。

ほぼ同じ価値をもつとみなされるモノ同士が、交換される。商品の売り手は、自分が相手に手渡したモノの価値を承知していて、それを買った人から相当な価値がこちらに戻ってくることを、当然のこととしている。

モノの価値は確定的であろうとつとめている。その価値は計算可能なものに設定されているのでなければならない。



贈与



しかし
贈与は究極の〈欲望〉である。



贈与の原理

贈り物はモノではない。モノを媒介にして、人と人との間を人格的ななにかが移動しているようである。

相互信頼の気持ちを表現するかのよう、お返しは適当な間隔をおいておこなわれなければならない。

モノを媒介にして、不確定で決定不能な価値が動いている。そこに交換価値の思考が入り込んでくるのを、デリケートに排除することによって、贈与ははじめて可能になる。



裸の甲虫



新生児は
まるで
裸の
甲虫である



ことばにできない本当の私

純粹贈与をうける
でも、これだけじゃ
生きていけない。

ことばに
できない
本当の私



去勢 = 欲望が生まれる

社会性をもつ
ことばを使う



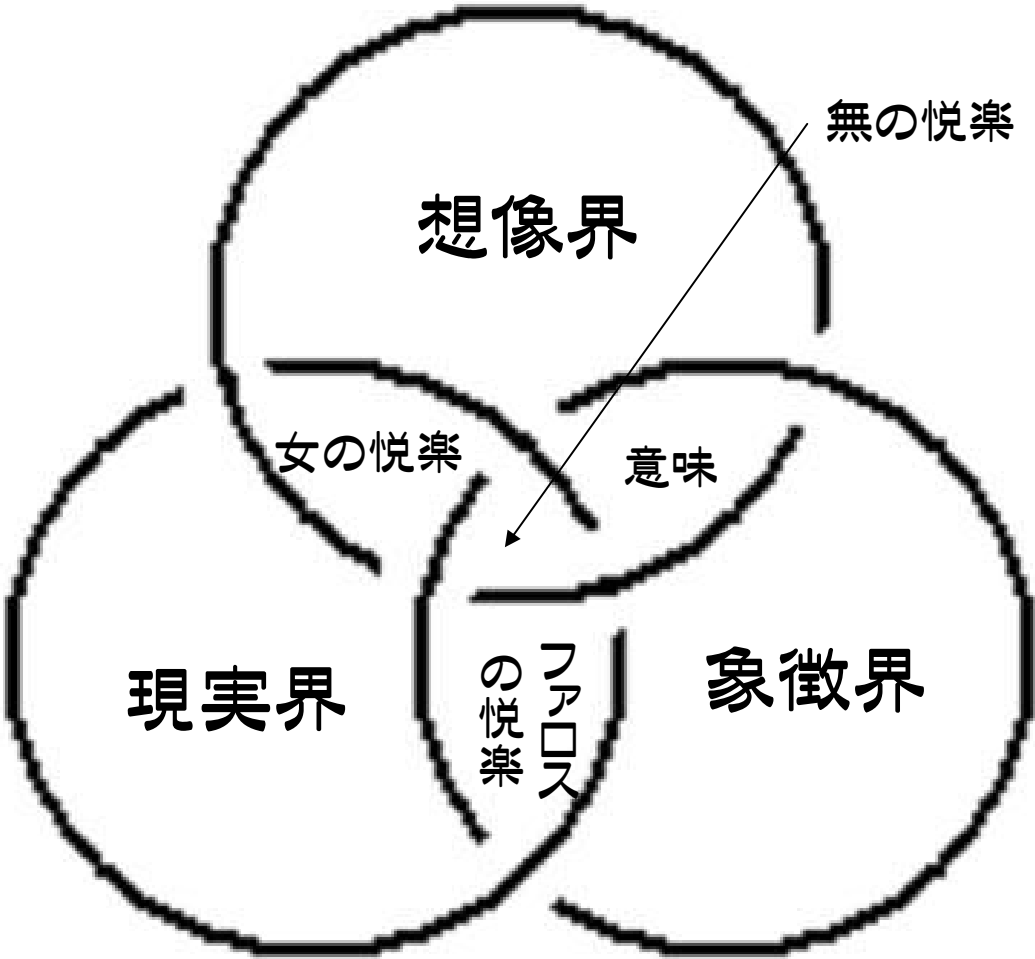
しかし
ことばは
私の外にある

人間の
去勢



ボロメオの結び目

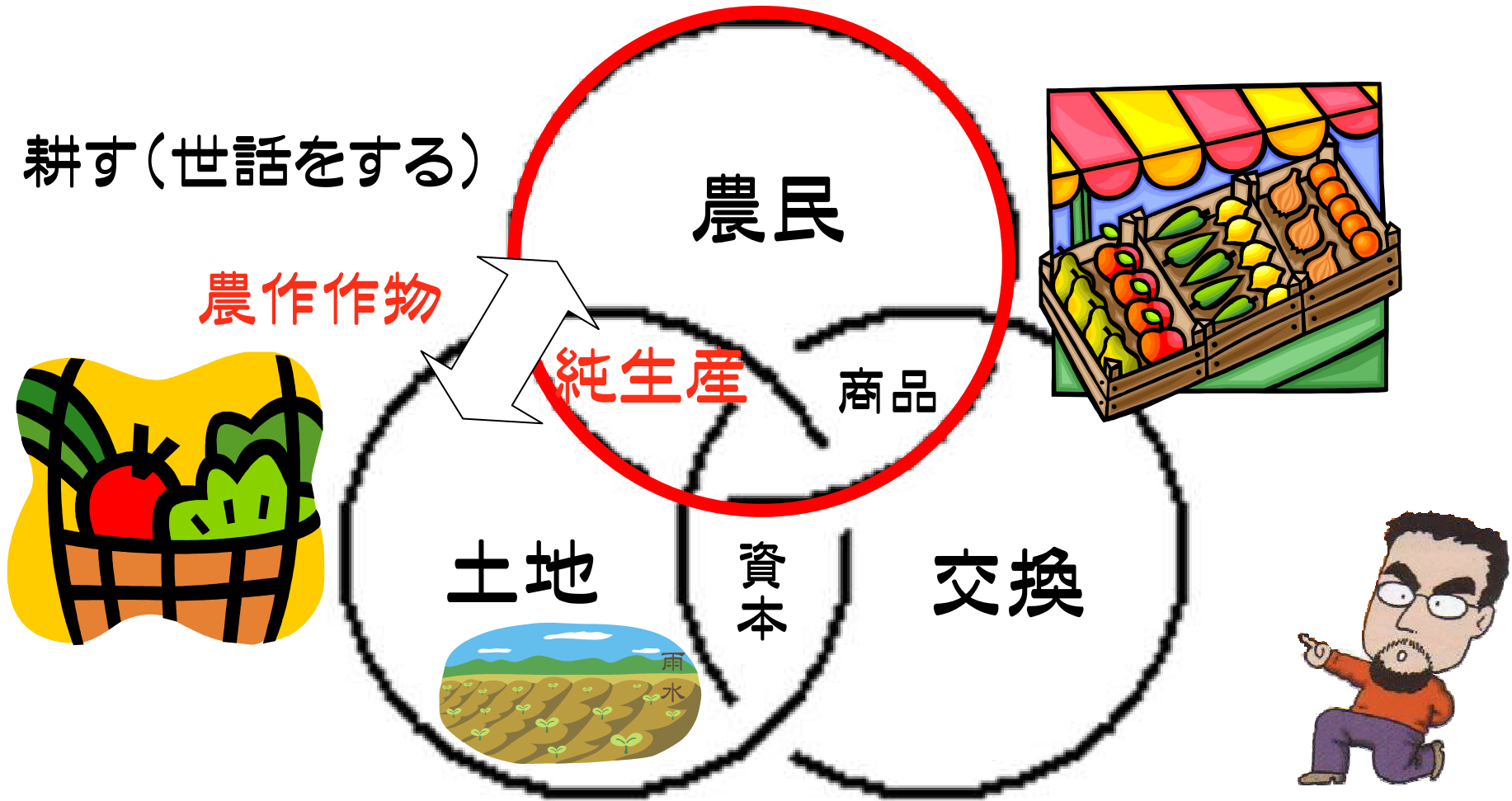
ジャック・ラカンの精神分析学



普遍经济学



農業の三位一体モデル

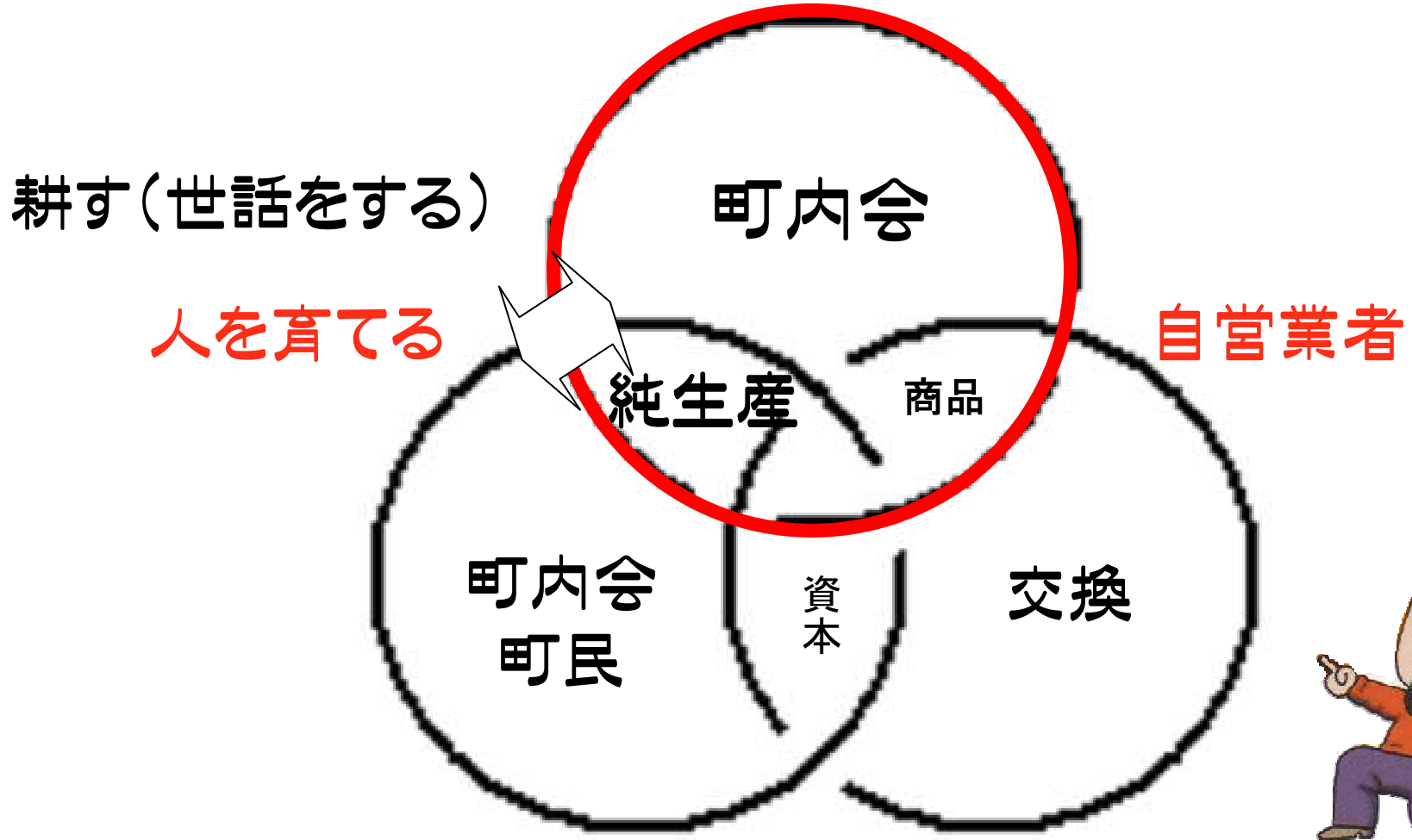


交換は後から接続されることで
純生産が商品に転換する。

Googleの三位一体モデル

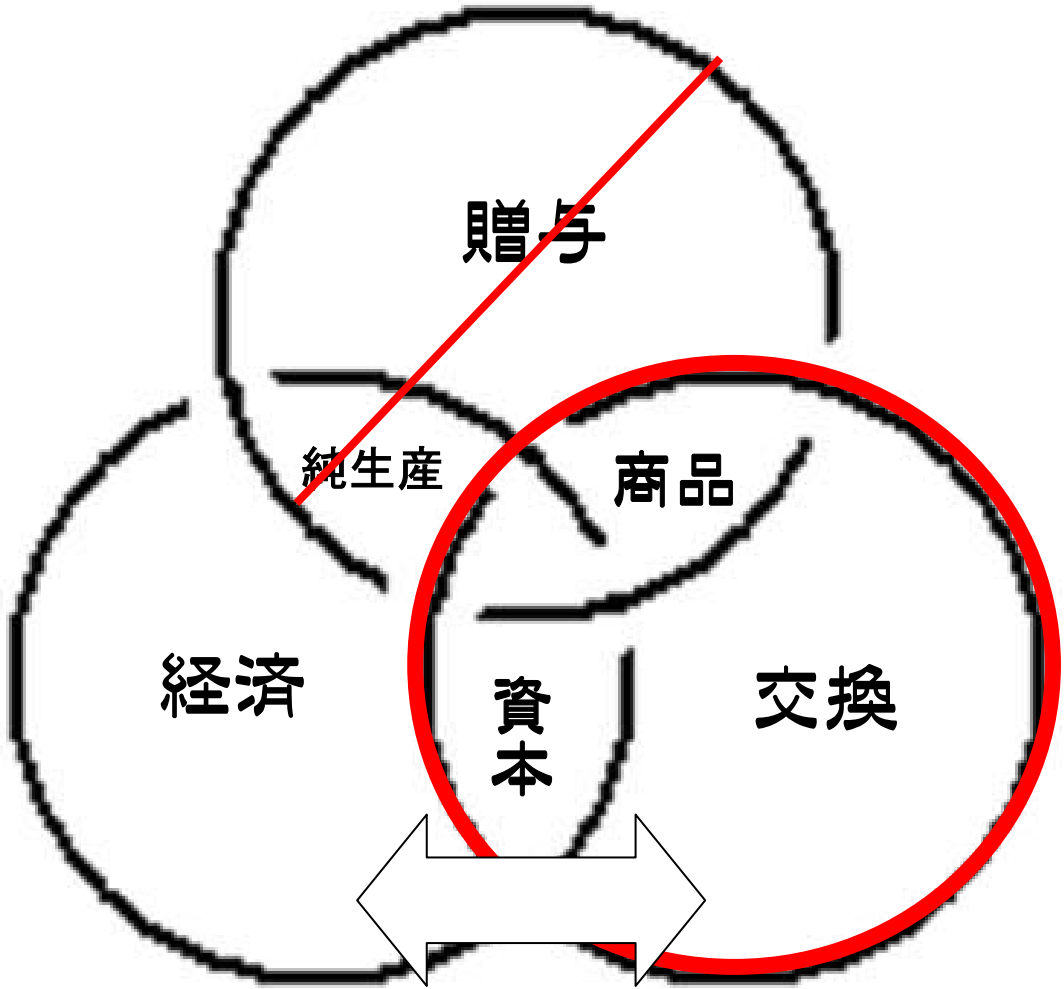


町内会の三位一体モデル



交換は後から接続されることで
純生産が商品に転換する

破綻した金融資本主義のモデル



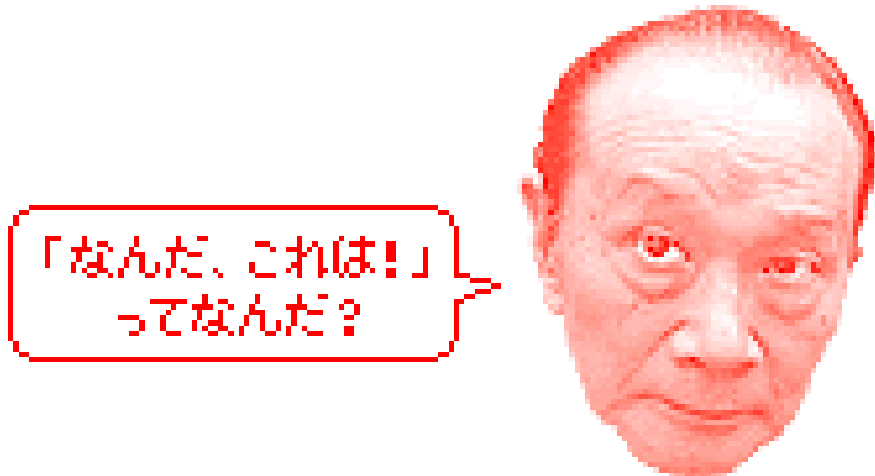
耕す(世話をする)



共感とコミットメントの経済へ

合理に非合理を突きつけ 無償を爆発させる

岡本太郎



アミジール

公界(組合)の原理

組合は非農業的、アジールの。

同一性をもたないトポス。

非農業民。非定着、無縁。「原始・未開以来の自由の伝統を生きるもの」(網野)

「数の原理」で組織される(年齢や年次や受けたイニシエーションの回数など)。

同一性にかわつての差異を尊重。個性の重視。

靈的ではあるが肉体性をそなえた神。

未知のものを表現する芸術の神、文学の神。

共同体モデル

共同体は農村的。

安定した同一性をそなえた空間。

合理のシステム。

農業民。定着。土地に人々は結びつき、それを
土台として権力は成り立つ。

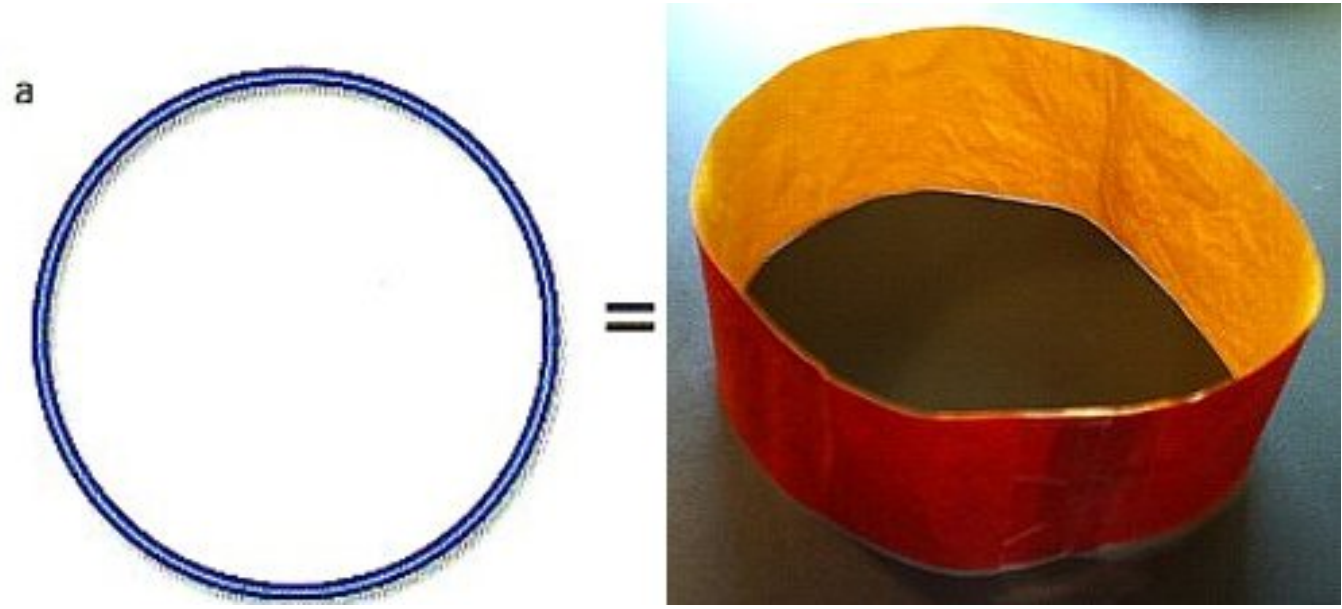
人々を結びつけるさまざまな「縁」でできている。

人の社会的地位はその縁によって決定される。

同一性の原理が働く。

排他的な超越する神。「正しさ」を支える法の神。

共同体のトポロジー



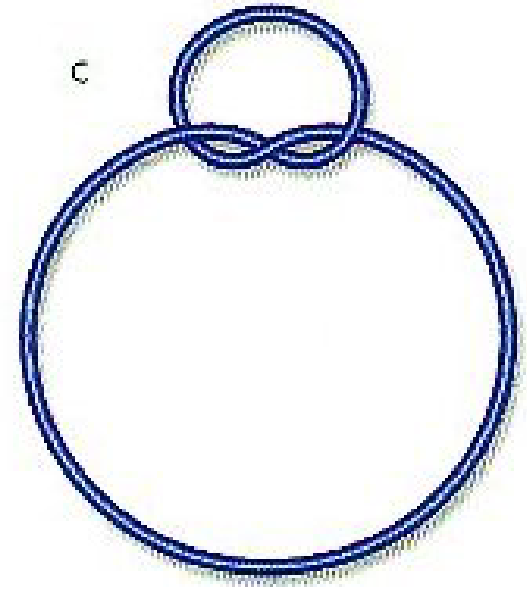
変化がない



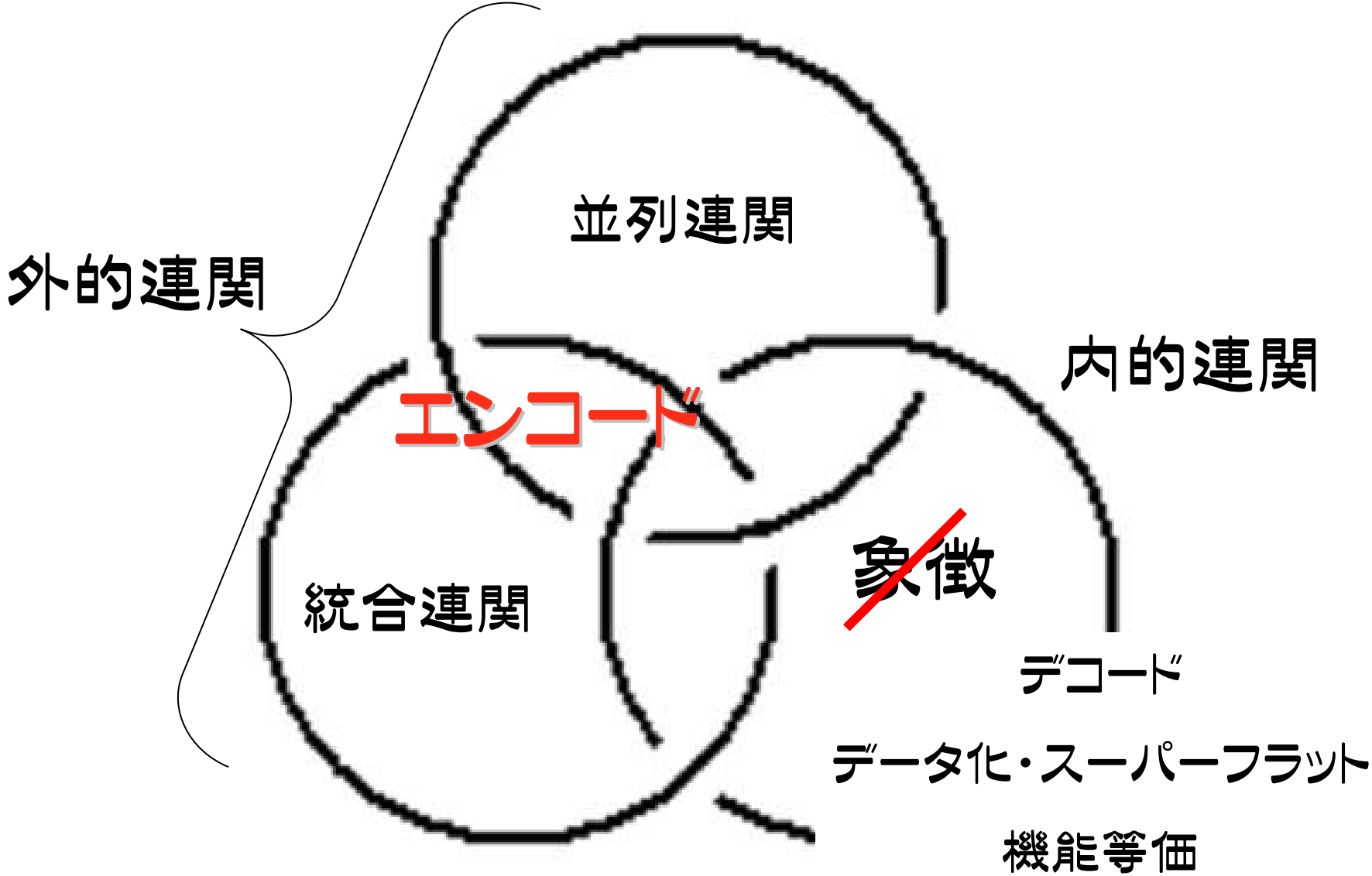
変化すること(キアスム)のトポロジー



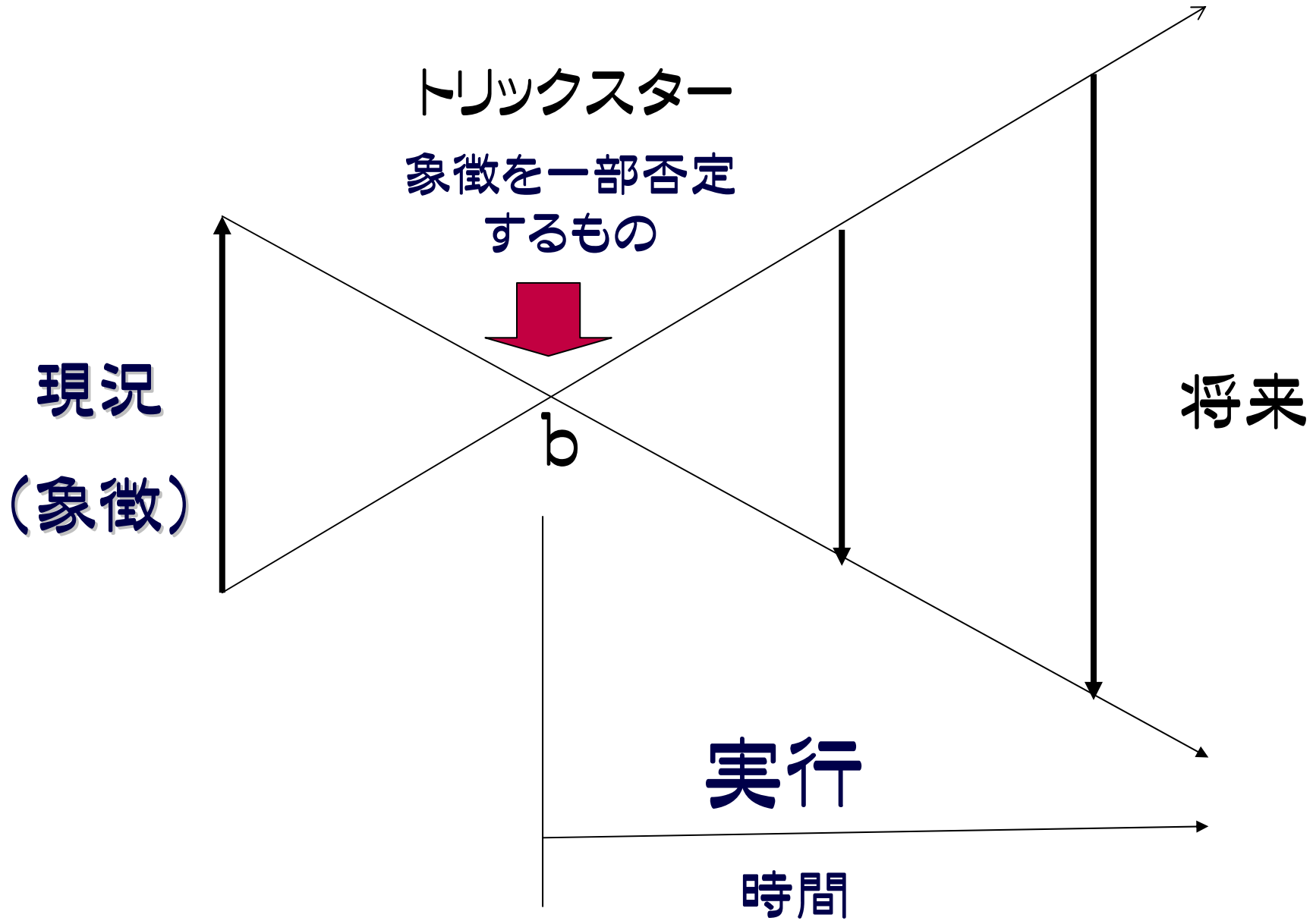
=



象徴の一部否定



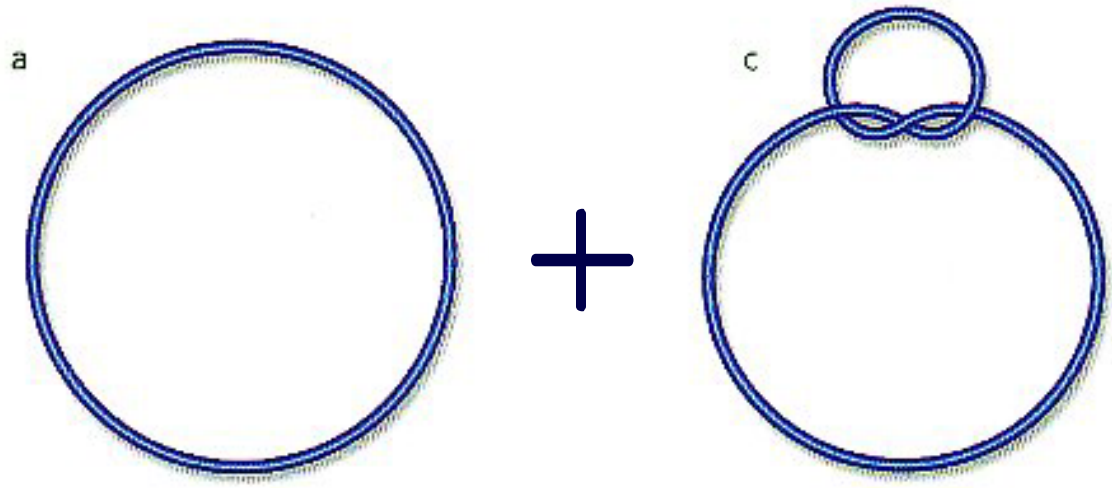
キアスム実装



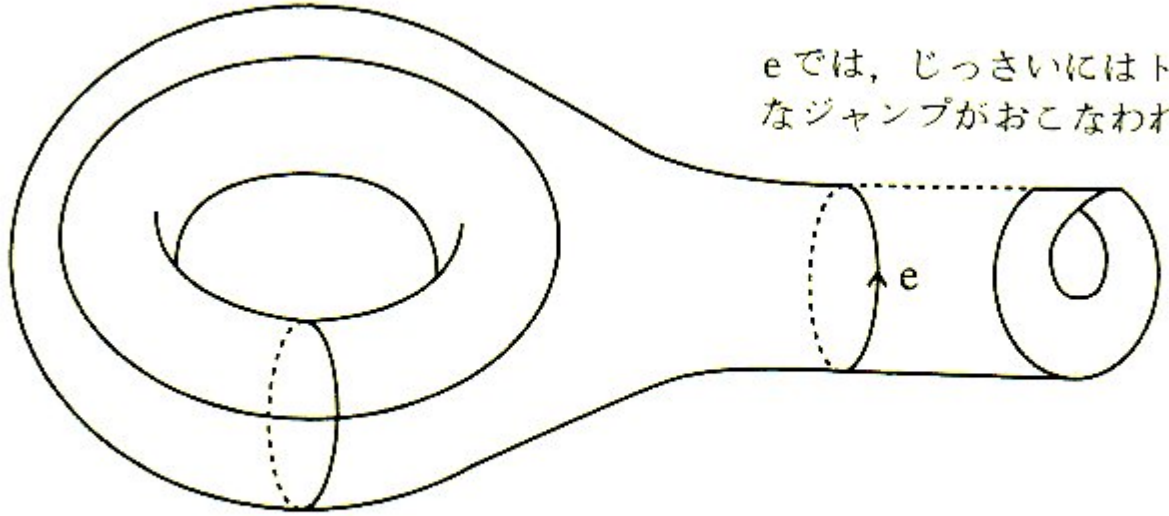
アジールの原理は
キアスムと
円環の
ハイブリッドのようなものだ



組合のトポロジー



組合のトポロジー



eでは、じっさいにはトポロジカルなジャンプがおこなわれる。

トーラスとメビウスの帯を連結したイメージ

中沢新一 『芸術人類学』:p91



ももちどっとこむ

ご清聴ありがとうございました。

桃知 利男



E-mail pinkhip@gmail.com

URL <http://www.momoti.com/>

ご面倒でも私宛の連絡はメールでお願いいたします。